



住まいるニュース

2018
3
vol.88

今月の特集 ■ 職住一体を楽しむ!

仕事もできる 家づくり

■ 仕事場は明確に分けるのが肝心、机や椅子だけでなく方角や照明も大切

共働き世帯の増加とともに在宅勤務を導入する企業やフリーランスも増え、家づくりにおいても自宅での仕事のしやすい環境が求められるようになりました。通勤がなく家事や育児・介護も両立しやすくなり、一見良いこと尽くしにも思えますが、一方で生活のメリハリが付けにくくなる難点も。長く会社勤めしてきたご家庭では、家に仕事を持ち込むことに戸惑いや不安があるかもしれません。自宅での仕事を想定するなら、まずは間取りを明確に分けて空間にオンとオフを作りましょう。長時間着席しても疲れない机や椅子を揃えることも大切ですが、窓の方角や位置、十分な照明設備への配慮も忘れずに。北向きなら、日差しの変化も少なくなります。また、子どものいたずらを防ぐなら、鍵がかかるようにしておくとも良いでしょう。

■ 仕事場を家のどこに置くか？ 職種や来客の有無をヒントにしよう

仕事に使う資料の量はどれくらいでしょうか。打ち合わせや来客の頻度、それから一緒に暮らす家族の人数は？ 家全体の間取りを検討するとき、どの位置に仕事場を設けるかに正解はありませんが、これらが快適に過ごすヒントになります。例えば、リビングの隣なら

もうすぐ就職や転職の季節ですが、近年は共働きや在宅勤務が一般的になり、働き方の変化は家づくりにも及んでいます。仕事と暮らしを上手に両立できる家には、どのような特徴があるのでしょうか。

子どもの気配も感じやすく、家事との両立を重視する場合に有効。一方、集中力を高めたいなら地下や半地下に採光を確保したり、敷地に余裕があれば離れを設けるという方法もあります。仕事場での打ち合わせが多いなら、玄関に隣接させるのもおすすめ。プライベート空間が奥になり、生活感を抑えられるので来客時も安心です。トイレなどの水回りは複数用意すれば使い分けに便利。あるいは広いリビングに大きなテーブルを置き、キッチンを独立させておけば仕事にもプライベートにも幅広く使える空間になります。ご家庭によって生活パターンが異なるため、部屋を使う時間帯に配慮して決定するのが良いでしょう。

■ 将来を見据えて余裕のある家づくりを、「FPの家」なら柔軟に対応できる

当面は自宅で仕事をする予定がなくても、いざ必要となったときに対応できないと困ることも。そんな場合は、書斎や趣味室として空間を確保しておく選択肢もあります。仕事の事情や家族の成長に合わせて部屋の用途をフレキシブルに変えていくのも賢明な方法。「FPの家」は長期に渡って優れた住宅性能と変わらない暖かさを持つから、いつでも快適な環境で仕事を始めることができます。

職住一体の大きなメリットは家族が一緒にいられること。上手に問題解決しながら、新しい暮らしを楽しんではいかがでしょうか。



住まいの知恵袋

窓際空間の演出

屋外との接点である窓際は日だまりや景色を感じながら心地よく過ごせる場所。造り付けのベンチやソファを設計すれば、読書やカフェタイムにぴったりの空間になります。

窓を背に座れば屋内の家族の様子が見えやすく、直角に座れば外もほど良く目に入る姿勢に。敷地に余裕があるなら出窓としたり、爽やかに朝食のとれるダイニングにもおすすめで



す。窓の方角や位置で景色を上手に切り取り、日差しを取り込みましょう。昔ながらの縁側にも空間づくりのヒントがあります。軒で日差しを抑え、間口を大きく取れば暖かい季節にも気持ちよく過ごせる場所に。庭と連続させたり、道路からの視線を遮れば空間の質を高められますよ。

DIY

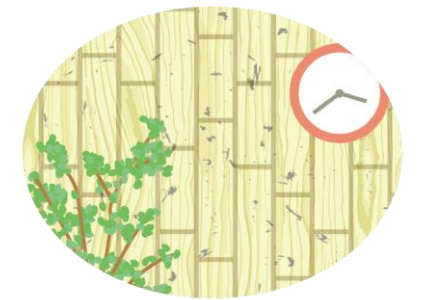
板壁

長く暮らす家なら、年齢や環境の変化でインテリアの好みが変わるのも当然。費用を抑えながら空間の印象を変えるなら、壁を選んで板壁を作ってみてはどうでしょう。

まずは壁の寸法を測り、面積分のベニヤ板を用意。幅に合わせて適宜カットしたら、お好みの色のペンキやワックスで塗装を。ナチュラルな雰囲気仕上げるなら長さをわざと不揃いにしたり、多少

の色ムラもOK。ペンキを重ね塗りした上から部分的に紙やすりをかけるシャビー加工も人気があります。

壁への固定は両面テープやボンドを使いますが、薄めの板なら両面テープにマスキングテープを重ね貼りすれば剥がすのも簡単。家族が集まるダイニングにもおすすめです。



おカネの豆知識

住宅ローンの優遇金

当初優遇と通期優遇の2種類があり、例えば当初優遇の「フラット35S」は一定の性能を満たす住宅取得の場合、5年間または10年間金利が引き下げられます。期間経過後の金利の確認や借り換え検討も忘れずに。後者は金利水準が高めながら計画が見通しやすく、返済期間が長い場合に向いています。



暮らしの1POINT

春のインテリア

まだ肌寒さの残る3月、一足先に季節を取り入れてみては。カーテンはレース生地や冬の重苦しさを一新。クッションカバーや小物は、淡いトーンなら色数が増えても穏やかにまとまります。肌に触れる布地は麻や木綿など薄手の軽やかな素材に替えれば、色だけでなく五感で春の訪れを感じられますよ。



Dr. 住まいる

静電気防止でホコリ対策

掃除をしてもすぐホコリがたまる部屋は静電気が原因。床だけでなく、見落としがちなドアや壁のお手入れが肝心です。洗濯機で柔軟剤を使うときにはふきんを一緒に入れておき、十分乾かしてストックすると便利。気がついたときに軽く拭けば静電気を抑えられ、1ヶ月程度は防止効果が期待できますよ。

